

「行政には常に町民の目線に対応」 (元葉山町幹部職員)

「町政にも地域にもなくてはならない人」 (元長柄町内会役員)



バス路線のことなど、地域の街づくりなどに住民と一緒に真剣に取り組んでくれるのが近藤さん。地域にも町議会にも、なくてはならない人です。

(元長柄町内会役員)

「葉山っ子」の近藤さんは、「土地っ子の人情と進歩的な政治感覚」で町民の生活を守れる人です。(堀内在住・70歳夫婦)

近藤さんは、長年の議員活動の実績は言うまでもなく、議会にあっては中心的な存在と感じていました。地方自治法をはじめとする関係法令にも精通され、行政に対しては常に町民の目線に立ち、緩(ゆる)みや不正を許さないという厳しい姿勢が今でも印象に残っています。新しい議員さんの比率が高くなった議会には、近藤さんのようなスペシャリストとしての存在が今こそ必要になっているのではないのでしょうか。

(元葉山町幹部職員)

近藤さんが、職を失って家賃の支払いが出来なくなった人に付添って、社会福祉協議会の生活資金貸付制度の利用を手助けしてくれました。(民生委員)



日本共産党の議員だから...

いま日本共産党は1議席ですが、近藤昇一さんが議席を持ち、議案提案権のある2議席のときは、積極的提案をおこない、議会をリードし、町政を動かしてきました。「国民の苦難軽減」「住民こそ主人公」を貫く日本共産党の議員だからこそ、子育て支援、住みよいまちづくりなど、みなさんの願い実現へ力を発揮できます。

町民の声を町政に届け 願い実現に力つくす議席

- 小児医療費無料化を6歳まで引き上げ就学前までの所得制限をなくしました
- 通学費補助の対象をすべての公立学校に拡大しました
- 公立学校のトイレ改修と様式トイレの設置をすすめました

税金のムダづかいをただし 建設的提案をする議席

- 住宅リフォーム助成制度を提案し実現しました
- 建築物の高さ制限と地下マンション規制の条例化をすすめました
- 公共下水道を見直し下水道事業のムダを削減しました

近藤前町議、町民とともに 被災地救援に3度かけつける

東日本大震災後、近藤昇一前町議がよびかけ、のべ34人の町民と一緒に3度にわたって宮城県石巻市にかけつけました。家に流れ込んだ泥出しや瓦礫撤去、全国からの支援物資を被災者に届けるなどの活動をおこないました。日本共産党のよびかけで全国から約2万人が被災地にかけつけました。

近藤昇一前町議

ボランティアの経験を生かし、津波対策など、町民のいのちをまもる葉山町の防災のまちづくりに力を入れたい。

国政でも日本共産党を伸ばし 政治を変えましょう

原発促進、環太平洋連携協定(TPP)のゴリ押し、年金支給額の削減や支給年齢の先延ばし、医療費の負担増、保育園の民営化など社会保障の切り捨てをすすめ、消費税10%への増税を持ち出すなど、野田内閣は、自公政権以上の悪政を推進しています。

民主、自民の2大政党は、「政治を変えたい」という国民の期待を裏切り、「アメリカいいなり、大企業・財界中心の政治」では同じ。この悪政と正面から対決する日本共産党が伸びてそこ、政治の流れを大きく変えられます。

原発ゼロの日本へ日本共産党が提言

日本共産党は、政府に対し、原発ゼロの日本にむけ、5年から10年の期限を決めて原発を廃炉にし、太陽光、風力、小水力、地熱など自然エネルギーへ転換するよう提言、国会でもつよく求めています。

除染・賠償など原発災害対策の財源についても、使用済み核燃料再処理引当金など原発推進のための積立金の活用、原発で儲けた「原発利益共同体」の大企業にも「基金」への拠出と負担を求めることなどを提案しています。



党派をこえて、 議会をまとめ、 町政を動かせる 最適の人 近藤昇一前町議へ